

「普請（ふしん）」とは、「普く請う（あまねくこう）」とも読み、「力を合わせて作業に従事すること」という意味が含まれています。市民に身近な「まち」に「普請」の輪を広げていきましょう。

ニイガタ

新潟駅周辺整備とBRT整備に関わる市民参加の取り組みを発信する広報紙

まちふしんぶん

2号

平成24年12月17日発行

発行：新潟駅周辺整備に関わる市民参加企画会議（略称：駅きかく会議）／BRT整備に関わる市民参加企画会議（略称：BRTきかく会議）
編集協力：特定非営利活動法人まちづくり学校／新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所・新交通推進課



市民の声を集め、
届けています。

BRTパネル展
2012.11.25（日）12：00～16：00／古町モール6

第2回新潟駅万代広場を考えるワークショップ
2012.11.18（日）13：30～16：30／ホテルダイヤモンド新潟

新潟駅周辺整備 p.2-5

市民目線で万代広場基本計画を点検する第二弾！
第2回新潟駅万代広場を考えるワークショップ・開催レポート

新交通・BRT p.6-8

街なかで市民に情報を伝えよう！
BRTパネル展 in 古町6番町・開催レポート

今、新潟市では2つの大きな都市整備プロジェクトが進行しています。新潟駅周辺整備事業と新公共交通システム・BRTの導入です。この2つのプロジェクトは、共に市民参加を行いながら進めています。「ニイガタまちふしんぶん」は、2つのプロジェクトに関連して実施される市民参加の取り組みを発信する広報紙です。

対話を通じた点検作業が進行中！

第2回新潟駅万代広場を考えるワークショップ開催レポート



第2回新潟駅万代広場を考えるワークショップの様子

設計者との対話を通じ、市民目線で新潟駅万代広場基本計画の点検を行う「新潟駅万代広場を考えるワークショップ」の第2回目が、平成24年11月18日（日）にホテルディアモント新潟で開催されました。

第1回のワークショップでは、新潟駅周辺整備事業のことや駅前広場基本計画の全体像について、参加者から出された質問に丁寧に対応したこともあり、万代広場基本計画の点検作業に十分な時間を取ることができませんでした。

そこで今回は、大半の時間を割いて万代広場基本計画の内容についての議論を行いました。

市民意見を具体的な形で表現した「改善アイデア」

議論にあたっては、設計者から計画内容の「改善アイデア」が最初に提示されました。これは、第1回ワークショップで出された市民意見を計画に反映させる場合、「具体的にはこんな形が考えられますよ」というもので、市民の意見を専門家の手によって具体的なデザイン・カタチにしたものです。

設計者との対話がカタチとなり、さらに議論が深まっていく。こうした進め方については、参加者からも大変好評で、「もっと議論を重ねていきたいので、回数を増やしてほしい！」という意見も頂いています。



第2回ワークショップで議論した内容を紹介します。

(第1回ワークショップで出された意見)

南口広場の一時駐車場・タクシール付近がいつも混雑している。
道路線形や幅員、一時駐車場入口は再考する余地がある。



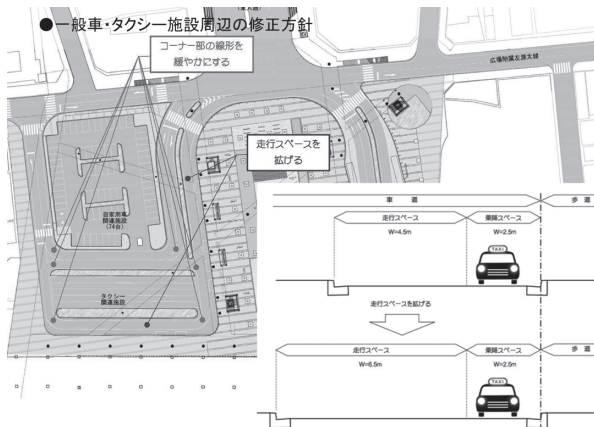
**改善
アイデア**

第2回WSで
設計者から提案

☞ **一般車乗降場を増設することや車路幅に少し余裕を持たせること(冬季の堆雪幅としても利用可能)が考えられます。**

車線増設や車路拡幅は、無秩序な乗降や駐車をまねく恐れがあり、ルールの徹底やモラルの向上を併せて行う必要があります。

☞ **適切な車路幅・延長の確保、駐車場出入口の滞留スペースの確保、屈曲部曲線半径の緩和などの対応が考えられます。**



乗降場や駐車場出入口付近において生じる交通の滞留や隣の車線に移るスペース(車路の幅・延長)を拡充し、交通の整流化を促すことが必要と考えます。

(第1回ワークショップで出された意見)

南口広場の案内表示が少なくわかりにくい。
広場の使い方がわからない。コンセプトが見えてこない。



**改善
アイデア**

第2回WSで
設計者から提案

☞ **万代広場では、方向等を表示する案内板だけでなく、湊町としての歴史性や柳都・新潟を意識できるようなグラフィックを採用していくことが考えられます。**

【第2回ワークショップで出された意見】



- ▷情報掲示はバランスを取ってほしい。(全部はいらない)
- ▷ガラス壁にイベント案内表示や客の動線を誘導できるデザインがあるといい。
- ▷バスターミナルとなるには「総合案内施設」がほしい。

ワークショップの成果はどのようなもの？

万代広場基本計画の見直しを行う際の基礎データとして扱っています。今回のワークショップのように、市民意見を受けて設計者が具体的なデザインを行います。なお、計画の見直しにあたっては、改善に伴う事業費の増加も重要な要素になります。市では、こうした面も踏まえて最終的に判断していきます。

【第2回ワークショップで出された意見】



動線が複雑になっているのでもっと単純にできないか。

- ▷タクシーと一般車の動線は分離してほしい。
- ▷駐車場は左折して入ることを基本にしてほしい。
- ▷駐車場の入口と出口は分けた方が良くはないか。

<自動車以外の意見>



自転車利用者への配慮をもっと考えてほしい。

- ▷自転車の利用者のことをもっと考えた駅にしてほしい(現在はとても利用しにくい駅である)。
- ▷カッコイイ文化的な駐輪場の設置とか、30分無料のレンタサイクルのサービスとか、ハード面のみならず、新潟市全体の交通システムをこの機会に見直して、自転車利用の新しいライフスタイルを築きたい。

案内表示のイメージ(例)



(第1回ワークショップで出された意見)

万代広場は一時駐車場・タクシープールよりもイベント広場の確保を優先させては？



改善
アイデア

第2回WSで
設計者から提案

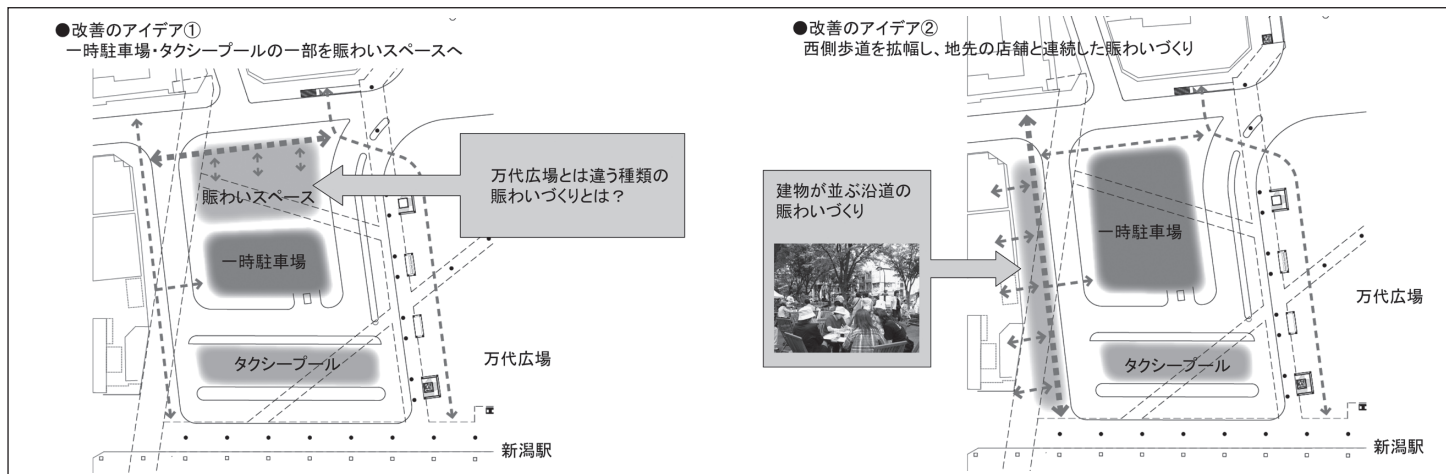
一時駐車場・タクシープール周辺のスペースの使い方として、イベント広場を含め幾つかの考え方がありそうです。

一時駐車場・タクシープールの規模を縮小させることで生み出されるスペースの使い方について様々な可能性を考えてみてはいかがでしょうか。



万代広場の部分整備計画について

- 平成26年度の新しい交通システム導入にあわせて、万代広場においてBRT発着機能の確保を含めた部分整備を計画しています。部分整備計画では、自家用車及びタクシー施設などの現有機能は、現状の配置を基本としながら、新たなBRT機能については、わかりやすさや乗換利便性の観点から既存バスターミナル側に配置する方向で検討しており、規模等を含め関係機関との協議を進めています。
- 今後は、BRT導入に向けた動きと歩調を合せながら部分整備計画の検討を進め、次回ワークショップで計画案についてお示しする予定です。



【第2回ワークショップで出された意見 (抜粋)】



自家用車整理場は縮小してもよい。

- ▷南口と同じ40台くらい用意しておいて、将来駐車場をなくしてもよい計画しておくのが良いのではないかな。
- ▷送迎用なら現在の台数より減らしても良いのではないかな。30分超過したら料金が急激に上がるようなくみになっていると良い。
- ▷駐車場自体を無くしてしまっても良い。

<にぎわい空間の拡張に関する意見>



にぎわい空間の拡張場所は

現在のバスターミナル付近を！

- ▷現在のバスターミナル付近をにぎわい空間として拡張するとよい。
- ▷既存のバスターミナルの上屋(屋根)を残し、活用していくべき。



中央広場を拡張する形にしてはどうか？

- ▷分散させるよりもひとつにまとまったほうが良い。L字になるより四角の方が使いやすいし、多目的に使える。
- ▷提案のような広場の拡張では、利用者が少ないのではないかな？



西側の歩道を拡幅する形がよい。

- ▷計画の駐車台数より減らす形で駐車場を縮小して、かわりに西側の歩道を拡幅する形で賑わい空間を拡大するのが良い。



情報サインボードは、ぜひほしい！

- ▷現在はどこに聞けばいいかわからず、問い合わせが全てJRに行っている。
- ▷「公」と「民」の情報発信ができるようになると良い。



新潟を象徴する構造物・モニュメントがほしい。

- ▷何か目を引くもの(シンボリックなもの)が欲しい。
- ▷世界に誇れる新潟駅らしさを象徴するデザイン・シンボルが欲しい。



緑に囲まれた空間というコンセプトはいいね。

- ▷緑に囲まれたイベント空間というイメージは良いと思う。
- ▷東大通の突き当たり側に木で目隠しするか、風除けパネルを立てる。
- ▷柳都らしく柳を植えたい。



柳を植えるべきかどうかは要検討だ！

- ▷柳は、維持費がかかる。ただし、いま駐車場の両脇にある柳は残すべき。
- ▷中央広場は中途半端な緑の空間にしてほしくない。(個人的な意見として柳は良くない)
- ▷イベントスペースにするならば木は不要。

<第2回ワークショップで議論した内容のつづき>

(第1回ワークショップで出された意見)

南口広場は雪・雨・風についての冬季対策が不十分である。

改善
アイデア

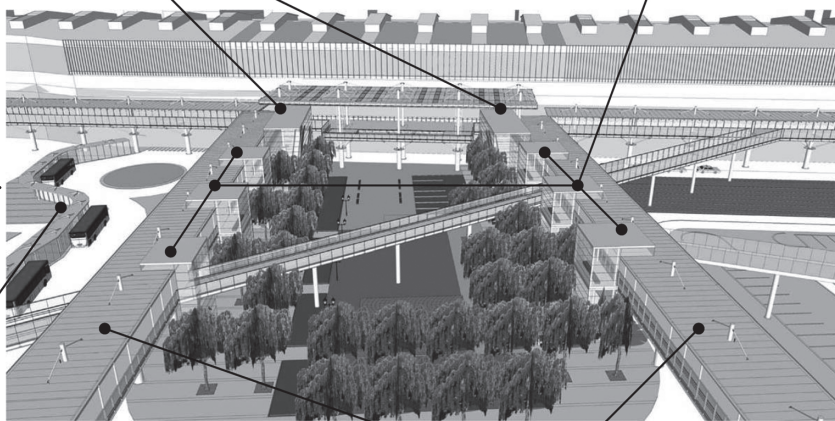
第2回WSで
設計者から提案

万代広場においては、今後詳細な設計が行われるため、従来設計における考え方に加えて幾つかの工夫が考えられます。

設計当初の考え方としては、雪・雨・風の対策としてペDESTリアンデッキなどが屋根や壁の替わりとなり大きな役割を担うこととしていました。

●エスカレータの向きを南北方向に変え、コネクターキューブ内(東西)に設置する案

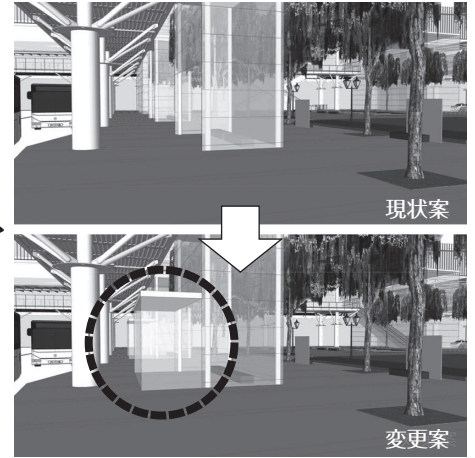
●コネクターキューブ[※]を拡張・室内化してバス待合室にする案



●バス Shelter の下、歩車道の境界に防風壁を建てる案

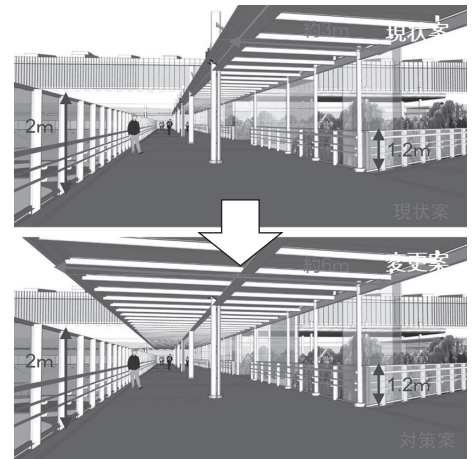
●ペDESTリアンデッキの屋根を約3mから約6mに広くして、→(半)室内化する案

<改善アイデアのイメージ>



※コネクターキューブとは？
広場に整備される全面ガラス張りの立方体の構造物。中にはエレベーターや階段室などが納められています。

<改善アイデアのイメージ>



【第2回ワークショップで出された意見(抜粋)】

新潟の冬の気候に対し、さらなる配慮を！

- ▷一般車の乗降スペースなど駅から離れた所にある施設には雨風を避けて駅に入れるように屋根・風よけの設備を充実させてほしい。
- ▷滑りにくい舗装にしてほしい。(石の磨き仕上げはNG)
- ▷イベント開催のことを考えると、中央広場には屋根が必要。

冬季対策を重視するあまり、人工的な空間になりすぎるのも問題ではないか。

- ▷バスターミナルのガラス壁は視界を遮り、広場と他からの縁を切ってしまう可能性がある。
- ▷全体としてあまり人工的なものばかりが目立つような造りにしないでほしい。
- ▷ガラス張りの待合スペースをコネクターキューブに付設する改善アイデアは、あまり必要ないのではないか。

ペDESTリアンデッキは開放感も大切な要素である。

- ▷ペDESTリアンデッキなども長岡駅のように全部を囲ってしまうものになると、閉鎖的で暗いイメージになってしまう。上から見下ろす開放感や景観も大切にしたい。
- ▷冬はいいが夏などは開放感がなくなってしまうので、ペDESTリアンデッキの屋根を開閉式にできないか。

ペDESTリアンデッキの配置に関する意見

- ▷ペDESTリアンデッキは重要。
- ▷外の景色や空間が見えるペDESTリアンデッキは良いと思う。斜めの配置は遊び心があって面白いと思う。
- ▷ペDESTリアンデッキをもっとまちの中に伸ばすことによって、周辺にある稼働率の悪い大型駐車場の利用率を上げると共に、周辺の商店街ともうまくリンクさせて、人の流れや賑わいを生み出したい。

BRTに関するQ&Aパネル展を開催！

BRTきかく会議では、市民へのBRTに関する情報発信が絶対的に不足していることから、BRT整備に関する正確な情報を市民が知る必要があると考え、まずはBRTきかく会議メンバーがまちに出かけて行ってBRTに関する情報をパネルにして伝えつつ、多くの方々と対話しながら更なる疑問やご意見を聞く場を設けることにしました。

パネルの内容は、BRTきかく会議メンバーが自ら考え検討した、市民目線での23の質問と市民に分かりやすい回答。それらを「BRT・Q&Aパネル展」として11月25日（日）12時～16時と若干短めではありましたが、中央区古町モールの6で展示しました。当日は、BRTきかく会議メンバーなど10名がスタッフとして参加し、パネルを見学している人に声をかけたり、質

問を受けたりしながらBRTのPRムーショ活動につとめました。

また、BRT導入イメージ映像や新たな交通システム基本方針PRムーションビデオを上映したところ、多くの方々が足を止め、中に

市民からたくさんのご意見を頂きました！

Q&Aパネル展を見学している人に積極的に声を掛け、BRTに関する意見や質問などを伺ったところ、90もの意見が集まりました。

は椅子に腰掛けて熱心に見入る人や映像を見てからじっくりとパネルを見て回る人までいらつしやいました。やはり、市民はBRTについて非常に高い関心や興味を持っていることがうかがえました。

また、パネル展の内容や展示方法、展示場所についてもたくさんのご意見をいただきました。

意見として多かったのは、BRT



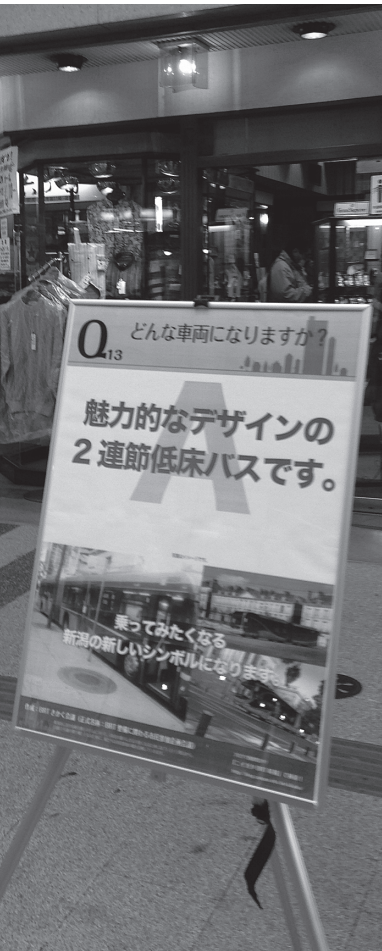
古町モール6にて、24枚のパネルを展示。BRTに関するプロモーション活動を行いました。



通りかかる市民を呼び止め、「こんにちは。BRTの導入について、何かご意見あれば聴かせて下さい」と呼びかけると、ほとんどの人は反応して答えてくれました。



あっという間に時間が過ぎました。市民の言いたい事を直に聴けた事が、一番の収穫でした。



BRT きっかけ会議監修のQ&A

パネル展で使用したBRTに関するQ&Aの一部をご紹介します。

※他のQ&Aについては、次号以降でご紹介していきます。また、BRT きっかけ会議のホームページ（ブログ）でも、随時紹介していきます。

Q. どうして新しい公共交通が必要なのか？

A. 将来を見据えると今から準備する必要があるからです。

「超高齢社会」「環境問題」などの大きな課題への対応が、今、私たちには求められています。中でも、超高齢社会の到来により、車の運転ができなくなる方が増え、結果として移動が困難になる方が増えます。そのため、「公共交通と車の調和を図りながら、誰もが移動しやすい交通環境を今から整える」ことが重要であると新潟市では考えています。

☞ 実際困ってから対応したのでは遅い！

将来への備えは「今から始めよう」という考えです。

Q. 新潟交通（株）がBRTを運行するんでしょ？

A. まだ決まっていません。

新潟交通（株）にBRT運行計画の第一提案権が付与されていますが、まだ決定していません。平成24年9月から始まった委員会では市民からの意見も参考にしつつ審議をし、平成24年度末までに新潟交通（株）が運行予定事業者として適格かどうかの審査結果が新潟市長に報告されます。

☞ 今、マスコミで報道されている情報は、あくまでも運行予定事業者を選定するために新潟交通（株）が新潟市に提案しているものです。



導入の必要性の賛否、なぜBRTなのか、専用レーン設置や乗換のイメージがわからない、郊外線バスを充実させてほしいなど。その内容は、まさに生活者の意見でした。BRTを導入することによって、私たちの暮らしがどう変わるのか具体的に想像がつかないといった声も寄せられました。

今回のパネルについては、わかりやすく表現したつもりでしたが、十分に伝え切れていない部分もありましたので、今後さらに手直しをしていきます。また、新たなQ&Aについても、市担当課と対話を重ねながら作成していきます。

このパネル展を各区で開催して欲しいとの応援メッセージも頂きました。まちなかばかりではなく、各地で行って広く意見を聞いてほしいという声も寄せられているので、どんどん実施展開できるようにしたいと思います。BRT きっかけ会議メンバーからも、もっと楽しいイベントにしたいという声もあがっていますので、今後の展開にご期待ください。

（BRT きっかけ会議メンバー感想）

▼「こんなのは失敗する」とか「新潟市の税金を使ってやるなら反対」など否定的な意見も多く頂いたが、「おもしろそう」「自分が使わないかも…だけど、車のない人などにとってはこういうものは大切だから、ぜひやってほしい」など肯定的な意見もあった。

▼BRTに関する情報不足から誤解されていることなどを改めて知った。



パネル展でいただいた市民意見（ダイジェスト）

BRT導入に賛成!

- ・賛成です。頑張ってください!
- ・一気にドーンとやしてほしい。
- ・LRT導入を前提としたBRT先行導入は賛成。
- ・時間に正確に来るならありがたい。
- ・私は使わないけど、お年寄りには必要なんだろうね。

市内を周回し、できるなら郊外にも延ばしてほしい

- ・新潟市を周回出来るようにしてください。
- ・新大病院や市民病院など病院がつながってほしい。
- ・BRTやるなら都心～郊外も設定してほしい。

郊外線バスも充実させてほしい

- ・南区の郊外線が充実するなら賛成。
- ・北区は本数少なすぎる増やしてほしい。
- ・小さいバスで支線を充実して。
- ・路線再編はもっと工夫して欲しい。

BRTだけで街は活性化しないよ。

- ・BRTでまちなかは活性化するの?郊外店や郊外開発を規制をしたり、車の中心部乗り入れを規制するなどセットでやらないと効果がないのでは?
- ・ソフト面もしっかり整備して欲しい。

2連節バスを導入して道路幅や曲がり角は大丈夫?

- ・道路を広げなくて大丈夫なの?電車通りは大丈夫?
- ・今の道路で2連節バスって曲がれるの?

専用レーンを設けることによって混雑するのは?

- ・BRTで使う車線は6車線中4車線。自動車交通はどうか

るの?

- ・専用レーンに自家用車が入って来て混雑するのは?

今までのバスルートやバス停が無くなったりするの?

- ・市内線（寄居町、西大畑など）のルートが消えてなくなるのが心配。
- ・これまでのバス停がなくなると心配。

BRT駅や乗り換えのイメージがつかないのだけど・・・

- ・BRTに乗る場所はどこになるの?
- ・駅前とバスセンターなどの乗り換え場所がはっきりわからず不安です。
- ・東区の人には乗り換えが必要なのですか?
- ・冬の乗り換えは快適にできますか?

利用料金はどうなるの?

- ・料金はどうなるの?
- ・200円は高いなあ。150円以内なら嬉しいんだけど。

除雪は大丈夫?

- ・除雪は大丈夫なの?除雪車が通ったら、雪が道路の脇に山になったりしない?

利用者を増やす工夫が大切

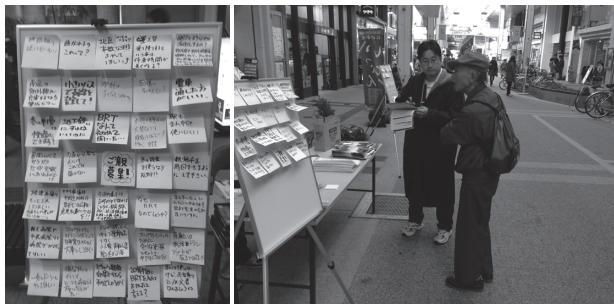
- ・学生の利用が増えるようにして。
- ・まちなかに若者は住んでおらず、BRTをどう使うかどうかわからないのでは?
- ・観光の為ならもっと目立つ車両を。

本当にBRTは必要なの?

- ・BRTなんて初めて聞いた。なぜBRTなの?
- ・昼間のバスはガラガラだよ。失敗に終わるのでは?
- ・どういう経済効果をもたらすのでしょうか?
- ・市の税金を使うなら反対。

各区でパネル展を行ってほしい

- ・中央区以外の各区での広報、意見収集も頑張してほしい。
- ・今回の展示は古町のみで終わらせることなく、駅前、駅南、万代、イオン店舗でも早期にぜひ。



次は市民参加の場を企画中!

現在、BRTの駅舎や車両は統一感のある洗練されたデザインになるよう検討されています。新潟市ではそこにも皆さんの声を反映できなにかと考えています。

これを受けてBRTきかく会議では、来年2月にある程度テーマを絞った形で市民が参加できる場を作ろうと計画中です。いくらかっこいいものを作っても駅から建物までの歩行者動線がスムーズでなければ使えません。乗降する際の動き方などを考えながら、新しいまちのシンボルとなるようなものにしていきたいものです。BRTについてきちんと学び、楽しみながら知り、快適に利用するアイデアを考える。BRTを私たちが使うことで、まちが生き生きするよう、これからも皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

まちぶしんぶんの次号は、1月中旬に発行する予定です。